



そしん

第49号



発行/社会福祉法人 素心会
責任者/事務局長 高瀬 尚人
〒259-0103
神奈川県中郡大磯町虫窪 39 番地 1
TEL.0463-71-1255
レイアウト・印刷 貴塚社ワークピア

- この委員会は、東日本大震災発生後の防災意識が高まる中で、法人全体及び各事業所の防災対策に関する課題を整理し、新たな対策を構築するために平成23年度に設置し、以来報道、研修などから多数の情報や現地の体験から得られた多くの貴重な教訓、効果的な対処方法、準備などを参考にして概略次の事項を検討してきました。
- ① 消防計画の見直し
 - ② 水道・電気・ガス等のライフラインの確保
 - ③ 防災時の緊急連絡網・職員の参集・呼集システム等の整備
 - ④ 受水槽、非常用自家発電設備、浄化槽、スプリンクラー等の設備の確認
 - ⑤ 発電機、浄水器、貯水槽、燃料(ボンベ等)等の防災用資機材、食品・飲料水・常備薬(利用者個人別常用薬を含む)・災害時生活必需品等の備蓄
 - ⑥ 外出・送迎中の利用者及び職員の安全確保と避難対策
 - ⑦ 帰宅不可通所利用者見の保護
 - ⑧ グループホーム利用者の安全確保、避難、救難対策

「防災対策委員会の取組について」

⑨ その他
3事業所の建物は、平成11年3月以降の建設で新しく鉄筋コンクリート又は鉄骨造であることから軽少の損傷はあるものの倒壊することはなくおおむね安全と考えています。
しかし、グループホームの一部には老朽木造家屋で海抜4.3メートルのところもあり心配しています。
自然災害でも地震だけは、必ず発生しますが、いつ、どこで、どれくらいの規模・強さで発生するのかわかりませんので、科学研究の長足の進歩があっても、海底下何10キロメートル、長さ何100キロメートルのプレートやトラフを見て確かめることはできませんので解明できず、また、予防・制御などはできないでしょう。この委員会は、この人為の及ばない大規模地震災害による被害を可能な限り最小限にとどめ再生していく備えを検討する役割を担っているわけです。
今後は、新消防計画と事業継続計画の早期策定に向け活動を続けたいと思っております。協力をお願いいたします。

法人事務局 課長代理 瀬戸洋平

後援会活動について

素心会後援会では、毎年12月初旬に素心デイセンターグラウンド擁壁に生い茂る草木を刈るボランティア作業を行っています。前回はデイセンター裏門側から草刈をしたので、今回は洗濯棟側から草刈を実施することとなりました。



▲作業中



▲作業中



▲破碎機への投入



▲作業後

た11名が集まり、チェーンソーや草刈り器を駆使して雑草や木々を伐採していきました。擁壁の傾斜面はとて急で、つたや茨等の草花のとげが刺さり絡まりやすくなりながらも、一所懸命刈り続けていき、グラウンド擁壁の半分が地肌のみえる位に掃除できました。大量に発生

する木片や草については、破碎機に投入して粉々にした後で、肥料として有効活用をします。
素心会後援会は多額な寄付のほか素心会で手が届かない環境整備面や納涼祭イベント補助などもしていただける孫の手のような存在であり、大変ありがたく思っています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

法人事務局 伊佐友志

後援会会員募集

- 会費は個人一口、年1,000円から 法人・団体一口、年10,000円から
- 会員には、新聞「そしん」をお送りします。
- 行事のご案内などをします。

会費の納入先

銀行振込は
中南信用金庫国府支店
014-0139723
郵便振替はどこの郵便局でも
00270-0-19507です。
口座名は
社会福祉法人素心会後援会
会長 鈴野七郎

※新しく会員になる方は
ご住所を電話等でお知らせ
いただくようお願いいたします。

事務局
〒259-0103
神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1
素心会後援会
TEL.0463-71-1255
FAX.0463-73-0009

素心会事業所 アドレス

素心学院	神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1	TEL. 0463 (71) 1255 FAX. 0463 (73) 0009
素心デイセンター	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (71) 1256 FAX. 0463 (71) 1284
地域支援センターそしん	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (70) 3577 FAX. 0463 (72) 2577
さざんがホーム	神奈川県中郡大磯町国府本郷 1308	TEL. 0463 (61) 1519 FAX. 0463 (61) 1519
ガモめホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 1370-23 コープKY2F	TEL. 0463 (61) 5404 FAX. 0463 (61) 5404
つばきホーム	神奈川県中郡大磯町国府新橋 482-1	TEL. 0463 (71) 0990 FAX. 0463 (71) 0990
シーベルホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 2232	TEL. 0463 (61) 5281 FAX. 0463 (61) 5281

◆◆ 編集後記 ◆◆
平成24年の漢字は「金」でした。九三年ぶりに日本の広範囲で観測した「金環日食」、世界一の電波塔として「金舌塔」を打ち立てた東京スカイツリー、ロンドンオリンピックでの「金メダル」。今年もいい出来事を願いたいです。

法人事務局 伊佐友志

今回の記事でも取り上げた防災対策については個人としても非常に関心のあるテーマです。
震災から2年が経過しようとしていますが、目を背けずに非常時に何が起これるのか想像力を働かせて備えなくてはならないとあらためて感じました。

地域支援センターそしん
大野裕史

障害者虐待防止法が10月1日に施行された。11月28日、千葉県の実地理事長がこの法に基づき初の逮捕者となった。日々の支援の中で、「これは虐待か?」と自他の言動を問う姿勢・感性と、芽を摘む行動力を持つて歩みたい。

素心デイセンター 武間和実

虫窪24番地

むつぐほ 24番地

去年の4月に就職すると同時に、実家のある川崎から二宮に引っ越した。海に近いので釣りを本格的に始め、休日にはよく近くの大磯や伊豆の岩場や漁港に出かけている。

釣りの楽しみの一つとして、様々な人との付き合いが広がるということがある。私は釣り場で近くの釣り人に声をかけて、釣りの情報を聞くようにしている。釣り人は親切な人が多く、話が弾むこともある。実際、釣りの本や雑誌に出ている人に来て釣りを学んだ。去年9月には大磯港で釣りをしている知り合いと一緒に釣りに行くようになり、かけがえのない仲間となった人もいます。

障害福祉の仕事においても同様であり、私は人と人とのつながりを大切にしていきたいと考えている。

素心学院 原田慶平

新たに追加する防災用備蓄品及び備蓄倉庫

項目	品名	数量
電気	ランタン	65
	ラジオ付き懐中電灯	30
	ランタン、ラジオ付き懐中電灯電池必要数	600
	ガソリン(リットル)	60
	ガソリン携行缶	3
水道・飲料水	新しい浄水器装置	2
	小型軽量ポンプ(ホース代含む)	2
	貯水槽(ブルーキャンパス)	1
ガス	カセットコンロ	10
	カセットコンロ用ポンペ	70
	プロパンガスホース3m	2
	プロパンガス台	2
トイレ	貯水槽(ブルーキャンパス)	2
	ポリバケツ60リットル	7
	小さいバケツ3リットル	7
食糧	素心学院、デイセンター、支援センター、グループホーム、地域住民を合わせて330名分で3日分	330
保健衛生	定時薬は2週間分ストック(学院)	2週間分
	医薬品は2週間分ストック(学院)	2週間分
	デイセンター・地域支援センターは、保護者に相談して処方箋をコピーして随時更新する。	随時
	除菌水は一定量をストックする。	随時
寝具	紙おむつ、生理用品、トイレレットペーパーは、一定量をストックする	2週間分
	寝袋	200
その他	新設の備蓄倉庫3畳タイプ(倉庫+基礎工事含む)	1
	新設の燃料倉庫1畳タイプ(倉庫+基礎工事含む)	1
	原動付き自転車	1
	アシスト式自転車	2
	リアカー(ノーバンクタイヤ)	2



平成24年12月現在 防災用備蓄品リスト

項目	品名	数量	
電気	発電機	3	
	投光機	10	
	ドラムコード	6	
	ランタン	5	
	ガソリン(リットル)	40	
	ガソリン携行缶	2	
水道・飲料水	ペットボトル(リットル)	630	
	貯水槽(ブルーキャンパス)	1	
	ポリタンク15リットル	5	
	旧式 浄水器装置	1	
ガス	プロパンガス50キロタイプ 4台(洗濯機、作業棟裏のプロパンガス)	4	
	プロパンガス(小) ガス入り	4	
	プロパンガス(小) ガス台	3	
	プロパンガスホース1m	3	
トイレ	ポリタンク15リットル	5	
	簡易トイレ(ボックス)	2	
	組立型簡易トイレ	10	
	排便収納袋(3箱)	3	
食糧	素心学院、デイセンター、支援センター、グループホーム、280名分で3日分	280	
	ハンゴウ	4	
	大鍋	1	
保健衛生	レスキューセット 1セット	1	
	防水シート(青シート)	28	
	担架		
	定時薬は2週間分ストック(学院)	2週間分	
	医薬品は2週間分ストック(学院)	2週間分	
	デイセンター・地域支援センターは、保護者に相談して処方箋をコピーして随時更新する。	随時	
	除菌水は一定量をストックする。	随時	
	紙おむつ、生理用品、トイレレットペーパーは、一定量をストックする	2週間分	
	寝具	フォールディングベッド(折りたたみ簡易ベッド)	15
	非常時 自家発電装置	毛布	100
軽油160リットル		160	
軽油缶8缶 4サイクルオイル1リットル		8 1	
工具類	丸シヨベル	2	
	バール	1	
	万能斧	2	
	カケヤ(鉄巻)	1	
	折込鋸・鋸	2	
	鎌	2	
	バチツル	1	
	ポストホールディガー(複式シヨベル)	1	
	コンパクトワークセット(タオル、軍手)	10	
	乾電池(単一、単二、単三)	有	
	ペンチ	2	
	メガホン	2	
	消火器	14	
	ヘルメット	有	
	トラロープ(3巻)	3	
	ドラムコード	6	
チェンソー(ガソリン式、電気式)	2		

平成24年度は、5コースの旅行を実施しました。寒い時期を避けて例年より早い時期に設定し、11月上旬に今年度最後の旅行を行いました。行き先は、伊豆長岡温泉、湯本温泉、芦ノ湖遊覧船、東京ディズニーランド、浅草・スカイツリー、焼津温泉、大井川鉄道と多岐にわたっています。伊豆長岡温泉は、のんびりと温泉・食事を、湯本温泉は、温泉と芦ノ湖遊覧船。ディズニーランドは、アトラクションと買い物、浅草・スカイツリーは、浅草寺から仲見世通りの散策、スカイツリー展望、焼津温泉・大井川鉄道は、温泉とSL。と天候に恵まれず、日もありましたが各コースとも十分に楽しむことができました。旅行は、利用者さんにとって一年一度の最高の楽しみです。来年度はもっと楽しい旅行を企画していきますので楽しみに！



四月から我が家にとって朝の恒例行事である声かけが「裕子ちゃん、素心だよ」「お迎えの車が来るよ」に変わりました。「睡眠障害をもつ裕子にとって朝は大の苦手です。でも、「素心」「お迎え」という言葉にビビッとスイッチが入り目をこすりながら起きま



す。スタッフの方々に導かれお迎えの車に乗り座席に座る姿を見て「今日も一日いい日でありますように」と日々見送っています。裕子は、さまざまなお迎えに加えて小学校を卒業するまでもと痛弱でした。欠席する日が多く出席できては給食前登校し、とうとうか下校時間まで過「す」という状態でした。中学生になったころから少しずつ体力が日課で高学年になるとうにか学校の日課をこなせるようになりまし



素心デイセンター 樋口 裕子
樋口 尚美 (母)

「家族のペンリレー」



平成24年度の一泊旅行は、昨年と同じ4回ありました。行き先は、鴨川シーワールドに2回、羽田空港と東京観光、最後は伊豆のアニマルキングダムでした。特に鴨川シーワールドの希望者多数のため、2回同じ行き先を設定しました。また、いずれも温泉ホテル宿泊で平成22年度から使用している観光バスも評判が良く、利用者の皆さんは、ゆつたりした席でよりいっそう旅行気分が盛り上がりました。

素心デイセンター 熊岡 功丞

「家族のペンリレー」

「お迎えの車が来るよ」に変わりました。睡眠障害をもつ裕子にとって朝は大の苦手です。でも、「素心」「お迎え」という言葉にスイッチが入り目をこすりながら起きま

平成24年度は、5コースの旅行を実施しました。寒い時期を避けて例年より早い時期に設定し、11月上旬に今年度最後の旅行を行いました。行き先は、伊豆長岡温泉、湯本温泉、芦ノ湖遊覧船、東京ディズニーランド、浅草・スカイツリー、焼津温泉、大井川鉄道と多岐にわたっています。伊豆長岡温泉は、のんびりと温泉・食事を、湯本温泉は、温泉と芦ノ湖遊覧船。ディズニーランドは、アトラクションと買い物、浅草・スカイツリーは、浅草寺から仲見世通りの散策、スカイツリー展望、焼津温泉・大井川鉄道は、温泉とSL。と天候に恵まれず、日もありましたが各コースとも十分に楽しむことができました。旅行は、利用者さんにとって一年一度の最高の楽しみです。来年度はもっと楽しい旅行を企画していきますので楽しみに！

をかけたいただきます。とても心があたたかくなる瞬間です。自宅にはいるとおやつを食べながら連絡帳を読むのが我が家の日課となりました。うっかり忘れていたら大変、連絡帳をカバンから取り出して「読んで」と猛アピール。「今日も楽しかったのね」「よく頑張ったのね」と話しかけると笑顔で答えてくれます。裕子は、以前全く笑うことができなかったときがありました。それは家族にとっても悲しく辛いときでした。裕子に再び笑顔が戻ったときの喜びは何にも替えがたいものです。親子三人でいくつもの山を越えてきたり着いたのが素心です。裕子のごとで一喜一憂する我が家ですが裕子と共に歩んでいけたらと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

職員基礎研修について

昨年の平成23年度より新任の職員を対象に新たな研修制度を開始した。研修委員会が企画立案を行い、全ての研修ではないが講師も担当。研修の内容は感染症や人権、発達障害者への対応など基本的な知識から介護技術といった実務的なことである。



今年度、研修委員としてこの基礎研修を実施してきた。私は素心会に勤務して10年目となる。基礎研修に委員として参加しているが自身も知らず知らずのうちに数多くあった。また委員が講師役を担当する研修では、レジュメ作成から着手した結果、自身がより知識を深めることに繋がったと感じる。

新任の職員がこの基礎研修の内容を理解し、より質の高いサービスを提供できることを期待したい。利用者一人ひとりに関わる上で知識や技術は必要であることは否めない。しかし、原点はそこでは無く何よりも利用者に向き合うことだと感じる。利用者の笑顔のために我々の存在がある。これも研修を通じて新任職員に伝えていきたい。終わることの無い素心会の歴史をこれからも築いていく上で、この研修の役割は大きいと強く感じている。

熊澤 貴弘

職員基礎研修

項目	内容
基礎研修Ⅰ(主に1年目の職員対象)	
I-1 知的障害の特性と知的障害福祉の歴史	①定義(知的障害とは) ②分類③特性④対応 ⑤障害福祉の歴史と素心会の歴史
I-2 介護技術	①車椅子操作②移乗(ベッド・車) ③食事介助④その他
I-3 感染症対策とてんかん	①感染症対応 ②てんかん
I-4 倫理・人権(1)	人権侵害事例と「あおぞらプラン」(神奈川県施設協会)及び日本知的障害者福祉協会倫理綱領に基づく内容。
I-5 ダウン症・自閉症・行動障害	①定義 ②特性 ③対応
I-6 記録・接遇	(記録) ①種類と書き方 ②書き出し ③身だしなみ ④電話対応
基礎研修Ⅱ(主に2年目の職員対象)	
II-1 リスクマネジメント	素心会を取り巻く環境から考えられるリスク・苦情解決の仕組み リスクマネジメントの手順・コンプライアンス・リスクマネジメント事例
II-2 制度	障害判定の内容・障害基礎年金・医療費助成制度・措置制度から支援費制度・障害者自立支援法の流れ・障害者自立支援法の事業の種類と素心会の事業
II-3 倫理・人権(2)	事例検討
II-4 自閉症・行動障害(2)	事例検討

素心学院の旅行について

平成24年度は、5コースの旅行を実施しました。寒い時期を避けて例年より早い時期に設定し、11月上旬に今年度最後の旅行を行いました。行き先は、伊豆長岡温泉、湯本温泉、芦ノ湖遊覧船、東京ディズニーランド、浅草・スカイツリー、焼津温泉、大井川鉄道と多岐にわたっています。伊豆長岡温泉は、のんびりと温泉・食事を、湯本温泉は、温泉と芦ノ湖遊覧船。ディズニーランドは、アトラクションと買い物、浅草・スカイツリーは、浅草寺から仲見世通りの散策、スカイツリー展望、焼津温泉・大井川鉄道は、温泉とSL。と天候に恵まれず、日もありましたが各コースとも十分に楽しむことができました。旅行は、利用者さんにとって一年一度の最高の楽しみです。来年度はもっと楽しい旅行を企画していきますので楽しみに！



素心学院 望月 信史

